

# 宮崎県社会福祉サービス第三者評価結果書

評価完了日 令和6年3月28日

評価機関 特定非営利法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

評価実施期間 令和5年12月19日～令和6年3月29日

## 1 第三者評価結果の概要

### (1) 施設・事業所情報

施設・事業所名	うちやまこども園	種別	幼保連携型認定こども園
代表者氏名	園長 橋口 隆子	定員 (利用人数)	65名 (77名)
所在地	宮崎市高岡町1018番地8	TEL	0985-82-1190
		FAX	0985-82-1198
ホームページ	<a href="https://kosodate-web.com/uchiyama/">https://kosodate-web.com/uchiyama/</a>		

### (2) 評価結果

#### ① 特に評価の高い点

- 10年ほど前から人口動態や関係団体からの情報収集なども行いながら将来の入園状況や地域の人口減少を見据えた園の持続的な運営を行うための中・長期計画を進めながら、隣接する地域での園の新設また地域のほかの保育園新設の業務受注の依頼に応えたり、民生委員などと児童福祉の新たなニーズを協議するなど新たな具体的な取り組みを通して着実に中・長期計画を進める姿は高く評価できます。
- 祭り行事など地域や商工会との様々な関係をつくり、また園の行事に保護者だけでなく法人関係者・ボランティアや世代間交流含め地元住民などを巻き込むなど一年間を通して地域に密着して関わったり、自然災害時には地域の避難場所として機能するように体制を整備し実際に行動するなど、施設の立地や特色を生かして施設の存在を地域で活用してもらえるような取り組みを行って、地域に根ざした保育を展開されています。
- 保育所の理念の通り、自然の中で「豊かに生きる力」を育てられている様子を、写真や聞き取りから感じ取ることができました。園長は、園児の意見、スタッフの意見を取り入れながら、昨年は「SDGS(エコ)」今年「絵本の中の世界」という保育テーマを掲げ、様々な活動ができるよう工夫されており、先生方もそれを楽しんでおられる様子が印象的でした。

#### ② 改善が求められる点

- 全体的な計画に取り組む際に、施設長や副施設長それと主幹教諭2名やクラス種担任など管理層とクラス担任など縦のつながりでPDCAに取り組む姿が見られました。また、保育者間や職員間などのつながりでは、環境整備や日常の活動などでは横の連携が見られます。今後は、チームとして機能するように、縦と横の連動が望める体制づくりに期待します。

2. 人材確保について、新卒・既卒・中途採用などこれまでそれぞれの経験則を踏まえた育成について研修体制も整えて取り組んでいます。今後は育成する側の人材が育つように必要な専門的研修の機会を確保したり、相談や助言など担当する職員がチームで育成について考察できる仕組みの構築など行なうことでより良い体制を整えることが望まれます。
3. キャリアアップシートが作成され、専門性の向上に努められています。保育士等の自己評価は毎年2月に計画されていますが、その結果の集計や課題分析の書面を確認することができませんでした。今後、保育士等の個人課題、園全体の課題をスタッフ全員で分析する等、学びあえる環境を整えられていかれることを期待します。

第三者評価結果の内容は、別紙の「第三者評価結果シート」にて公表する

#### 評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、8年ぶりに第三者評価を受けました。受ける動機は、近年の社会状況が変動する中で、幼児教育に携わるトップとして、当園の運営面・組織・保育内容・保護者支援・地域との連携等々、再度根本から見直し、何を強みとし、何が課題なのかを知る為です。

評価をして頂く為のプレゼンの仕方（伝える）は、日常の保育を行う上での伝達力にも直結する事であり、全てにおいて、効率よく見える化する事で、利用する方への信頼や職員の業務負担軽減、子ども達を安全に保育する事にも繋がる事であると感じました。色々な角度から着眼点置き、地域に愛されるアットホームな園づくりを行い、更なる資質向上に努めたいと思います。

## 2 施設・事業所情報

経営法人・ 設置主体	社会福祉法人・成育福祉会
開設年月日	平成6年1月11日
理念・基本方針	<p>・理念「豊かに生きる力を育てる」</p> <p>・保育目標「丈夫なからだ、やさしいところ、考えるこども」</p> <p>「生きる力」とは、一人の人間として、自分の人生をたくましく生きるために必要な判断力や行動力、学ぶ力、自立心、そして健康や体力を培う等、たくさんの意味が込められています。素直な気持ちで感謝し、学び、成長し続ける心、それこそが「生きる力」になる。そんな思いを込めながら、日々の保育の中で、子どもたち一人ひとりの成長を、きめ細やかにサポートしていきます。</p>
事業内容	<p>幼保連携型認定こども園の経営</p> <p>一時預かり事業の経営</p> <p>特別保育事業（乳児保育、延長保育、休日保育、学童保育）</p> <p>生活困難者に対する相談支援事業</p>
職員数	<p>常勤職員数 16名</p> <p>非常勤職員数 5名</p>
専門職	<p>管理栄養士 1名</p> <p>調理師 1名（非常勤）</p> <p>子育て支援員 3名（非常勤）</p>
施設・設備の概要	<p>居室数 11部屋</p> <p>・もも・たんぽぽ・ちゅうりっぷ・うめ・さくら・ランチルーム・職員室・おとぎの部屋（作業部屋・休憩）・職員室・給食室・給食室</p>
特徴的な取組	<p>うちやまこども園は、静かで豊かな自然環境の中で、子どもたちは、のびのびと過ごしています。園舎は、子どもたちを温かく、優しく迎え入れる山小屋風の建物です。保護者や園児、そして保育に関わるすべての人が、地域住民の協力を得ながら、心豊かに幸せを感じられるようなこども園でありたいという思いから、様々な経験を五感で感じながら、色んな事に気づき、発見し喜びへと繋がる感覚を実感できるような保育を展開しています。子ども達の健やかな成長を願い、ご家庭とこども園、地域が協力し合って共に歩んで行きたいという熱意を感じ取ることができました。</p> <p>・子ども主体の保育の一貫で、子どもが選択できる保育環境（遊び等）と、みんな一緒に行う一斉保育の環境を取り入れ、集団での学びや一人一人を大切に出来る環境を作っています。</p> <p>・餅つき会、運動会、マラソン大会等の行事に、理事や民生委員・児童</p>

委員、地域の方の協力を得ることができています。

- ・毎年「保育テーマ」を掲げ、職員と園児、給食関係の先生方含めて、テーマに沿った保育が展開される。毎朝、こども会議を開き、日々の保育が展開される等、こども真ん中の保育を展開しています。こども会議を行う事で、自分の考えを話したり、お友達の意見も聞く事の大切さを感じとり、話し合いによって解決していくことを習慣化されています。
- ・長年続いている保護者ミニバレー大会は、連携施設と交流することもでき、保護者間、および職員との親睦を図る機会があります。
- ・農業体験（うちやま畑、田植え、稲刈り、脱穀体験、ハウスでのきゅうり狩り等）は、地域とのつながりを深める行事があり、今後、「地域食堂」へと発展していく土台となっています。
- ・スポーツ教室での体力作り、英語教室（異国文化）、習字教室（年長：姿勢・集中力・文字の書き順）、希望者には、サッカー教室やスイミング教室を行っています。
- ・ひむかカルタでは、遊びの中の学びを通し、他園との交流や国際大学との繋がりを作り、郷土愛を高めながら「宮崎大好きっ子」を育てることに役立っています。
- ・スマホアプリ導入により、保育の様子を保護者へ発信し、安心して預け、成長をともに楽しめる環境の整備ができています。
- ・こどもたちが餌を持参して、ウサギや金魚を飼育し、命の大切さを学ぶ取り組みがあります。
- ・ペットボトルキャップを集め、世界の子ども達へワクチンを届ける取り組みを約15年近く行っています。